

2020年1月20日

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

社会福祉学術文献表彰事業

第21回「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」受賞文献の決定

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団（理事長：二宮雅也）は、社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の受賞文献を決定しました。また、財団賞にはおよばないものの、優れた著作（佳作）であると評価された、特に若手の著者を対象とした「損保ジャパン日本興亜財団奨励賞」の受賞文献も決定しました。なお、受賞者には2020年3月17日（火）に、損保ジャパン日本興亜本社ビル（東京都新宿区）において贈呈式を開催します。

1. 損保ジャパン日本興亜福祉財団賞（賞状、記念品と研究・出版助成金100万円）

（1）受賞文献

著書名：『住宅扶助と最低生活保障－住宅保障法理の展開とドイツ・ハルツ改革』

著者：嶋田 佳広 氏（佛教大学社会福祉学部教授）

出版：株式会社法律文化社 2018年4月発行

（2）「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」について

本賞は、日本における優れた社会福祉学術文献を表彰する制度です。

1999年に創設し、今年度で21回目となります。

同賞が、社会福祉学の学問的探求を目指す方の研究意欲の促進につながり、その研究成果が日本の社会福祉の発展に大きく寄与することを目的としています。

過去の受賞者（要旨）についてはこちらをご覧ください。

https://www.sjnkwf.org/katsudou/hyousyou_list.html

（3）受賞記念講演会について

2020年7月11日（土）には、グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）において、受賞者による講演会の開催を予定しています。

2. 損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞（賞状、記念品と研究・出版助成金50万円）

著書名：『効果的な退院・転院支援－医療ソーシャルワーカーの専門的役割』

著者：林 祐介 氏（同朋大学社会福祉学部専任講師）

出版：株式会社旬報社 2019年2月発行

<損保ジャパン日本興亜福祉財団について>

損保ジャパン日本興亜福祉財団は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社の出捐を受け、社会貢献活動の一翼を担う財団として設立された公益法人です。同財団の主な活動は本事業のほか、社会福祉団体に対するNPO基盤強化資金助成、自動車購入費助成、海外助成、介護福祉士養成のための奨学金の給付、社会福祉・社会保険・損害保険・ジェロントロジー（老年学）等に関する研究助成や研究会・講演会の開催を行っています。

以上